

## 2025年度 公益事業一覧

### 1 自主研究会事業

1	継続3年目	長井 寿	「人類の安寧とより良き生存」を目指した工学倫理と工学教育
2	継続3年目	榊蔵 美智子	過疎地と都市部における高齢者の心理・比較研究
3	継続2年目	高木美也子	能登被災地における高齢者の経済的ストレスと睡眠の質に関する調査—高齢者のQOL向上
4	継続2年目	田中 笑子	当事者と支援者のウェルビーイングを高めるコミュニティ構築に向けた生存科学
5	新規	小作 明則	里山林の生物多様性保全と自然環境教育—国分寺崖線の谷戸地を対象として—
6	新規	清水 美香	レジリエントで持続可能な社会に関わる「生存」諸課題のための「超学際研究」:機能促
7	新規	増田 一世	生存の理法と生存科学に基づく「生存ケア」の構築に関する実践的研究
8	新規	井上 信次	社会的に不利な状況にある人との共生に向けた社会の構築に向けた研究—共生への意識に

#### 自主研究会事業(若手研究者)

1	新規	山本 銀兵	幼小接続期の学びのデザインから沖縄県民の健康の維持・増進を考える研究会
2	新規	宮城 利佳子	幼小接続期のカリキュラム作成についての研究
3	新規	北川 裕美子	社会的に不利な状況にある人に対する社会的排除が生じる環境要因に関する探索的検討

### 2 助成研究事業

#### 1) 研究助成

##### (1) 生きづらさを抱えたことに対する支援の研究

1	大塚 類 (東京大学大学院教育学研究科)		避難を続けるなかで生きづらさを抱える小中学生を対象とした対話型ワークショップ
2	木本 啓太郎 (東海大学医学部)		生化学的検査を考慮した子どもの精神状態の評価と治療
3	鎌塚 優子 (静岡大学教育学部)		子どもの生きる力を育むキッズカンファレンスの意義
4	小澤 典子 (慶應義塾大看護医療)		学校教員を対象としたプログラム口腔用液投与に関する研修プログラムの構築
5	出口 奈緒子 (静岡大学 学術院教育学)		メタバースを活用した学校における救急処置のシミュレーション研修の構築

##### (2) 生と死のはざまにおける心理社会的問題に関する研究

1	南 琴子 (聖路加国際大学大学院)		終末期のケアの話し合いに参加した慢性閉塞性肺疾患 (COPD)患者の生と死に関わる経験:現象学的解釈学的研究
2	金城謙太郎 (帝京大学大学院)		生と死のはざまにある患者に対する在宅医療における心理社会的問題支援

##### (3) 「若い (社会的側面)」と「老いる (内面的側面)」に関わる研究

1	清水 啓介 (東京都健康長寿医療センター)		高齢者が自分らしく生きるための意思決定支援—一周周期における高齢者に対するAdvance Care Planningの在り方—
2	秋葉 峻介 (山梨大学大学院総合医科学センター)		「変身 (metamorphose/metamorphosis)」としての老いと人生の最終段階
3	小野 真由子 (東京都健康長寿医療センター)		死を見据えたエンドオブライフ期にある高齢者が抱く感謝の意味
4	井藤 佳恵 (東京都健康長寿医療センター)		独居高齢者の社会的孤立へのアプローチ:引越直後に地域とつながる支援

##### (4) その他 (研究助成)

1	椎葉 奈子 (筑波大学大学院看護)		在住ベトナム人女性の産後うつ予防に寄与するソーシャルサポートの特徴
2	富岡 良平 (熊本大学大学院生命科学研究部)		幻聴の神経回路の解明
3	山脇 功次 (郡山女子大学短期大学部 幼児教育学)		幼児期における参加型食育プログラムの実践を促進するツールキットの開発
4	大谷いづみ (立命館大学産業社会学部)		当事者視点による生命倫理教育・医療倫理教育に関する研究
5	後藤 あや (福島県立医科大学総合科学)		コンビニの利用と地域への愛着・信頼
6	遠藤 野ゆり (法政大学キャリアデザイン学部)		過疎・高齢化地域における地域資源としての社会復帰センターを子どもたちのキャ
7	高野 真優子 (聖路加国際病院)		血液がん患者のACPに必要な支援タイミングの探究
8	阿部 愛 (聖路加国際大学大学院)		看護倫理教育における学生の専門職的価値観の獲得過程:教育実践からの考察
9	伯耆原 真理子 (聖路加国際大学大学院)		わが国の若者の生存に関する問題状況の分析:生命倫理学の視点から

#### 2) 公開講座・フォーラム等開催助成

1	本田美和子 (国立病院機構東京医療センター)		健寿社会を実現する社会基盤:自由と自律を支えるケアの継続性
---	------------------------	--	-------------------------------

### 3 生存科学叢書出版助成

	生存科学研究所	委員会にて今後の計画予定
--	---------	--------------

出版委員会
-------

#### 4 シンポジウム

第11回生存科学シンポジウムの開催
-------------------

#### 5 その他公益事業

1	学術誌「生存科学」発行 年2回
---	-----------------

2	広報活動 生存科学ニュース、ホームページ管理、創立40周年事業（40年史編纂）
---	---

3	委員会活動 選考委員会、倫理委員会、自主研究・助成研究ヒアリング等
---	-----------------------------------